

歴史文化資源を活用した地域誘客促進企画
～Senju Model～



令和6年5月
国土交通省 関東運輸局観光部
江戸街道プロジェクト推進チーム



富嶽三十六景「武州千住」
(現在の足立区千住桜木辺り)

CONTENTS

1. はじめに	2
2. 江戸街道プロジェクトとは	2
3. 実施方針	3
4. 事業コンセプト	3
5. 開催地域・場所の選定	4～5
1) 開催地域：北千住の特徴	
2) 開催場所：慈眼寺の特徴	
6. イベント内容の検討	6～7
1) 講談とは	
2) 地域に伝わる伝説・逸話	
3) 演出等	
7. 実施概要	8
8. 訴求力の向上・地元との連携	9～10
1) 千住宿街歩きツアー	
2) 御宿場印マルシェ2024	
9. 広報・プロモーション	11～12
1) イベント名・広告（チラシ）デザイン等	
2) WEB媒体を活用した広告宣伝の実施	
10. アンケート調査	14～18
1) アンケート内容	
2) アンケート結果	
3) アンケート結果分析	
11. 受託事業者所感	19
12. 費用について（参考）	19
13. まとめ	20



1. はじめに

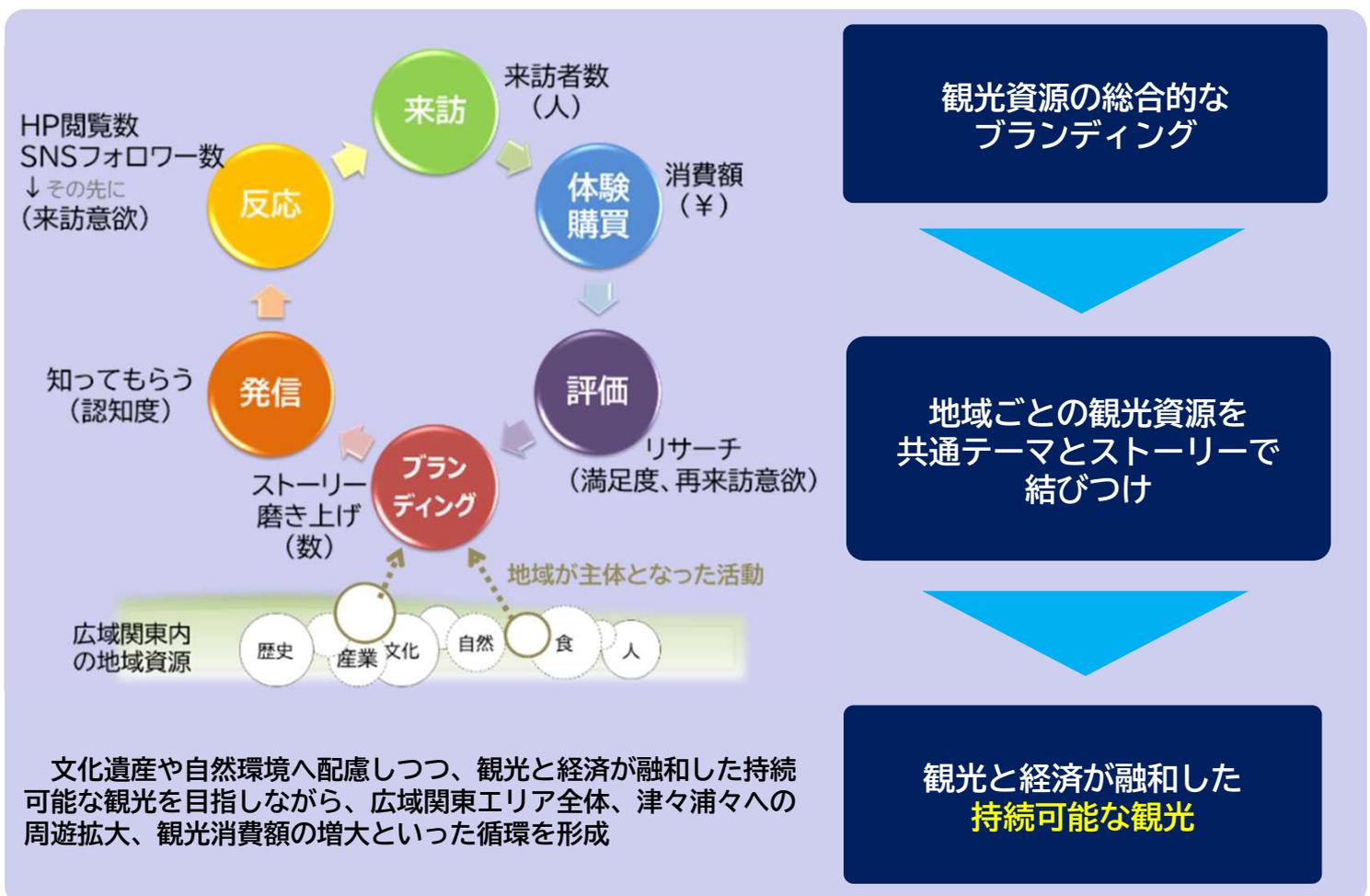
街道沿いには、いにしえより語り継がれたその地域における伝説や逸話が数多く残っており、地域を訪れた旅行者にとって魅力的なコンテンツとなっています。

そこで、日本の歴史や文化に興味のある欧米豪を中心としたインバウンドを対象に、地域に伝わる“伝説や逸話を活用したインバウンド向けの講談会”を江戸街道プロジェクト関連事業として企画・開催することで誘客促進の効果等を検証しました。

本事業をパッケージ化し、他地域へと横展開するため『Senju Model』としてとりまとめましたので、地方公共団体やDMOの皆さまをはじめとした、より多くの方にご活用いただければ幸いです。

2. 江戸街道プロジェクトとは

関東には魅力ある観光資源（地域）が数々点在しており、これらをより磨き上げ、観光を通じて地域の活性化をより図るための一つの手立てとして、観光資源が単体ではなく複数で連携すれば相乗効果として魅力度や発信力の向上、集客増が期待できるといった観点から、関東運輸局が提案している地域連携促進のための取組です。

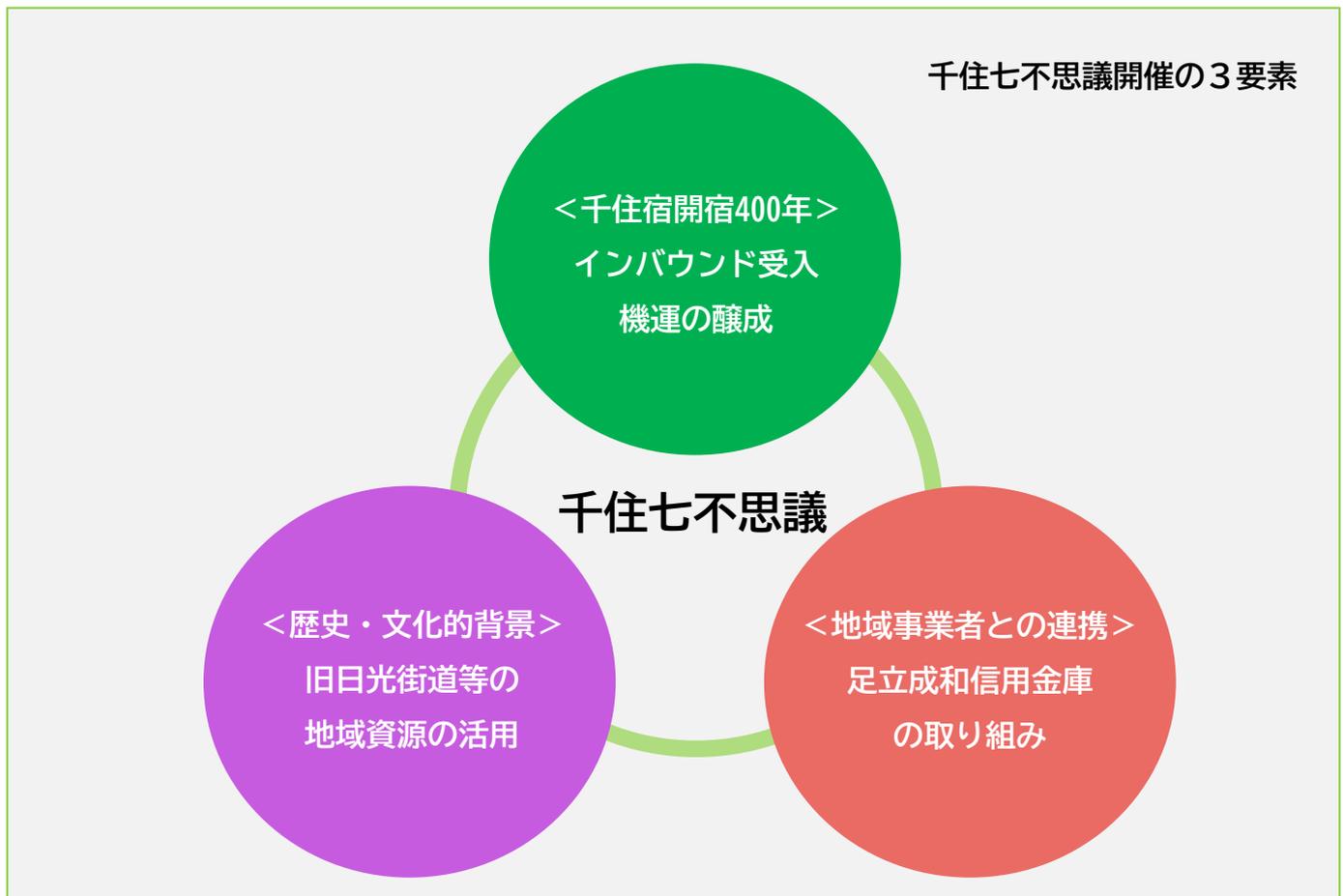


参考 「江戸街道プロジェクト推進ビジョン2023」

3. 実施方針

旧日光街道の初宿として今なおその面影を残す北千住地区において、足立区及び地元の関係事業者等と連携したインバウンド向けのイベントを開催することで、上野・浅草地区と並ぶ新たな適地を目指して、当該地区の認知度・魅力度の向上を図ること

4. 事業コンセプト



POINT

事業を進めるにあたり、事業コンセプト<上記図式>に重点を置くとともに、実施方針を定めました。足立区北千住地区（千住宿）が、2025年の『千住宿 開宿400周年』に向け、街道観光をキーワードとしたインバウンド受入機運の醸成に適した地域であったことから

- ・ 地域の目指す姿・方向性に対して活用可能な地域資源はあるか？
- ・ 地域事業者（ステークホルダー）の理解はあるか？

について特に配慮しながら、これらの要素がバランス良く交わり合うことで、地域が一体となった事業が可能となりました。

5. 開催地域・場所の選定

開催地域の選定にあたり、主な要件を以下のとおり整理しました。

- ○○七不思議のような民話・逸話が語り継がれている地域であること
- 寺社仏閣や本陣、脇本陣等の歴史的価値を持つ施設があること
- その他、伝説・逸話を活用したイベント会場としてで相応しいと考えられる施設があること
- 交通アクセスが至便であること

1) 開催地域：北千住の特徴

- かつて旧日光街道の初宿「千住宿」として栄えた場所であること
- 当時の面影、雰囲気伝える歴史的な寺社仏閣や建築物が残っていること
- 現在も商店街（宿場町通り）として下町の賑わいを感じられること
- 「千住七不思議」に代表される民話・逸話が語り継がれていること
- 北千住駅は、JR東日本、東京メトロ、私鉄2社線が乗り入れていること



《周辺MAP》



2) 開催場所：慈眼寺の特徴

会場の慈眼寺（じげんじ）は、正和三年(1314年)の創建で、3代将軍徳川家光の時に江戸城北方の祈願所として葵の紋の使用を許された徳川家ゆかりの寺院という背景があり、また、檀家中心の寺院ではあるものの、地域での文化的事業や活動に理解があったため、広さや立地も含めて会場として適していると判断したものです。

（北千住駅より旧日光街道経由、徒歩約10分）



慈眼寺（外観）



慈眼寺（山門）



葵の紋（慈眼寺山門）



慈眼寺（本堂内）

3代将軍徳川家光の時に、（伝）弘法大師作聖観世音菩薩像を本尊として安置したことで、江戸城北方の祈願所として葵の紋の使用を許されたとされている。

弘化四年、寛永寺の山主（慈性入道法親王）が日光社参の際に、宿場本陣に支障があったため、代わりに本陣を勤め、以来、6度にわたり寛永寺山主の休息所となった。東京大空襲により本堂を含めほぼ消失したが、山門に掛かる扁額は創建当時のもの。

参考 足立区教育委員会

《歴史文化資源の活用》

POINT

イベント等の会場として、歴史的・文化的な価値等を持つ寺社仏閣等を活用することは、その場所にもつわる言い伝えや慣習など、特徴的で魅力的なストーリーの発見にもつながります。

しかしながら、寺社仏閣は、信仰の対象・信仰の場であることはもちろん、不特定多数の人が使うことを想定していなかったり、一度壊れてしまえば取り返しのつかない場所でもあります。歴史文化資源の活用にあたっては、特に配慮が必要となりますので、単に貸し会場として使用するのではなく「本来の用途」を尊重する必要があります。

参考 文化庁「UNIQUE VENUE HANDBOK」

6. イベント内容の検討

メインターゲット

“日本の歴史や文化に興味”のある欧米豪を中心としたインバウンド

コンテンツ

“地域に伝わる伝説や逸話”を活用したもの

上記を踏まえ、イベントは「英語による講談」を中心とした内容に決定

1) 講談とは

講談（こうだん）とは、演者が高座におかれた釈台（しゃくだい）と呼ばれる小さな机の前に座り、張り扇（はりおうぎ）でそれを叩いて調子を取りつつ、軍記物（軍記読み）や政談など主に歴史にちなんだ読み物を観衆に対して読み上げる日本の伝統芸能のひとつです。

「講談」と「落語」はことあるごとに比較されていますが、その違いは一体どこにあるのでしょうか。簡単に言ってしまうと、「落語」が会話によって成り立つ芸であるのに対し、「講談」は話を読む芸という言い方ができます。勿論、読むといっても単なる朗読とは違い独特の調子と小道具の使い方で展開される話芸です。よく使われる小道具として有名なのが張り扇と釈台(机)です。

張り扇で釈台を叩きパパンという音を響かせて調子良く語ります。この小道具を巧みに使った芸こそ「講談」ならではのものです。

また、「講談」は「落語」と比較して歴史が古く、奈良、平安の頃にその原型が見られますが、一般によく知られる「講談」の始まりは江戸時代の「太平記読み」とされています。食に困った浪人が老若男女を集めて「太平記」を読んで聞かせたというもので、これが「講談」のルーツといわれています。

出展 講談協会ホームページほか

2) 地域に伝わる伝説・逸話

怪談や幽霊の話は各地にあります。江戸時代、このような不思議な話をいくつか集めてひとくりにし、「〇〇の七不思議」とすることが流行したと言われていました。

江戸の七不思議の中では本所七不思議がもっとも有名ですが、のちに続々と、江戸城、豊島、麻布、番町、品川、馬喰町、八丁堀、千住など多くの七不思議が語られるようになったそうです。

江戸の七不思議には、江戸の地域や地形に基づいて特色ある話題が語られています。七つの話題の選定については異説がいろいろあり、当時不思議な現象に事欠かなかった状況がうかがえます。

「千住七不思議」

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 一、千住大橋と大亀 | 五、子福(こふく)さま |
| 二、千住大橋と大緋鯉(おおひごい) | 六、金蔵寺(こんぞうじ)のそば閻魔 |
| 三、牧の野の大蛇 | 七、おいてけ堀 |
| 四、片葉の葦(かたはのあし) | |

出展 足立区ホームページ

3) 演出等

会場として、慈眼寺本堂の利用が可能となったことから、慈眼寺本堂の古風で荘厳な空間を活用し、時間を越えた体験を作り出すことを目指しました。

また、千住に伝わる伝説・逸話の世界をよりリアルに感じながら講談の魅力を楽しんでもらえるよう、英語による講談をメインとしつつ、英語字幕付きの日本語講談や、琵琶弾き語りを演目に加えることとしました。

魅力度アップ

- 講談特有の語り口調や日本語の響き・味わいを体験させるため、英語字幕付きで「日本語による講談」を一部実施
- 英語字幕は講談内容の全翻訳ではなく、「場面・状況説明」の内容に工夫
- 英語字幕の投影はモニターではなく「ふすま絵」をスクリーンとして活用
- 講談のほか、より日本語の味わいを楽しんでいただくため千住にゆかりのある『奥のほそみち』を題材とした「日本語による琵琶弾き語り」を演目に追加
- 会場内の照明に「竹明かり」を使用し、神秘的な雰囲気醸成
- 「千住宿街歩きツアー」では、着物姿の英語ガイドが七不思議の舞台となった場所などを解説



協力 路地裏寺子屋 rojicoya

7. 実施概要

公演名：The seven wonders of senju
 ～あなたの知らない「千住七不思議」の世界～
 日時：令和6年2月28日（水）、29日（木）
 第1部：15時～16時 第2部：17時～18時
 料金：無料（予約制） 各回定員15名
 場所：慈眼寺本堂（東京都足立区千住1-2-9）
 演目：琵琶弾き語り「奥のほそみち」（日本語）（川嶋信子）
 講談「そば閻魔」（日本語／英語字幕）（神田ようかん）
 講談「千住大橋と大亀」（英語）（神田ようかん）

英語通訳ガイド付き街歩きツアー（講談会と同日開催）

各日：13時30分～14時30分
 料金：無料（予約制） 各回定員15名
 行程：北千住駅～宿場町商店街～ほんちょう商店街～東京芸術センター前広場
 （御宿場印マルシェ会場）

御宿場印マルシェ2024（足立成和信用金庫主催で同日開催）

場所：東京芸術センター前広場（足立区千住1-4-1）
 内容：御宿場印PR、物品販売 等

講談会参加者	街歩きツアー参加者
2月28日（水）①12名（予約12名）	2月28日（水） 8名（予約10名）
〃 ② 2名（予約6名）	
2月29日（木）①14名（予約14名）	2月29日（木） 12名（予約13名）
〃 ②11名（予約11名）	
合計 39名	合計 20名



講談「そば閻魔」



講談「千住大橋と大亀」

(YouTube)

【関東運輸局】江戸街道プロジェクトプロデュース
 「あなたの知らない千住七不思議の世界」～インバウンド向け講談会～
https://www.youtube.com/watch?v=Z2_vQE5cxXg

8. 訴求力の向上・地元との連携

講談会をより魅力的な体験とし訴求力を向上させるため、講談会参加者を対象として千住七不思議の舞台となった旧日光街道沿いの寺院や名跡等を巡る「千住宿街歩きツアー」を企画しました。

また、地元企業（足立成和信用金庫）の主催により「御宿場印マルシェ2024」が講談会会場近くの広場で同時開催されたことにより、北千住地区の認知度・魅力度向上に寄与できたほか、本イベントをフックとして、2025年の『千住宿 開宿400年』へ向けた機運醸成を深めることができました。

魅力度アップ

- 講談にゆかりのある寺院・旧跡等を巡る「千住宿街歩きツアー」を実施
- 地元企業（足立成和信用金庫）の主催で「御宿場印マルシェ2024」を同時開催
- 講談会会場内に「御宿場印プロジェクトPRブース」を設置

1) 千住宿街歩きツアー



■コース（全行程徒歩にて約60分）

北千住駅（集合）～《宿場町商店街》～街の駅～千住ほんちよう公園～長円寺、めやみ地蔵～横山家、吉田家（絵馬屋）～毎日通り飲食店街～本陣跡地～柏屋（蕎麦屋）～金蔵寺～足立成和信用金庫本店前 松尾芭蕉像～御宿場印マルシェ（解散）

■参加者5名毎に2名の和装ガイド（内1名は通訳）を同行させ、安全管理及び参加者への細やかな対応に配慮



千住宿街歩きツアーの様子



2) 御宿場印マルシェ2024

御宿場印プロジェクトの宣伝及び近郊の各旧宿場町の観光宣伝、物産販売等を目的として、足立成和信用金庫主催により「御宿場印マルシェ」が講談会開催日に合わせて開催されました。当日は、周辺住民や買い物客などで賑わいを呈し、また、マルシェ会場を街歩きガイドツアーの終着地点としたことで、インバウンド向けに旧宿場町の観光や産品を宣伝する機会とすることができました。

■開催概要

日時：令和6年2月28日（水）及び、2月29日（木）、各日11:00～15:00

場所：東京芸術センター前広場（足立成和信用金庫本店そば）

出展：足立区観光交流協会【千住宿】（御宿場印販売）

春日部市・春日部市観光協会【粕壁宿】（市推薦物産販売）

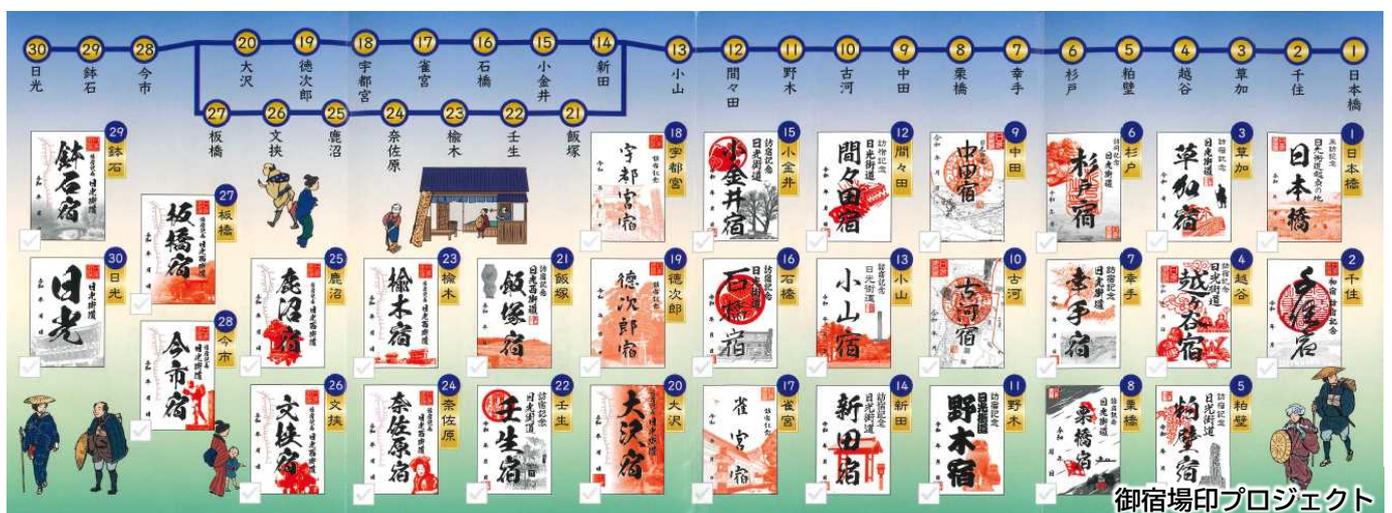
鹿沼相互信用金庫紹介企業【宇都宮宿】（地域銘菓販売）

主催：足立成和信用金庫



《御宿場印プロジェクトとは》

足立成和信用金庫が発起人となり各地の信用金庫や観光協会等と提携し『印を集めながら歩いてみれば、観て知って食べて、街がもっと好きになる。』をテーマに地域経済活性化を目的に進められているプロジェクト。日光街道・日光西街道、会津西街道、東海道、甲州街道、奥州街道へと広がりを見せています。



協力 足立成和信用金庫

9. 広報・プロモーション

1) イベント名・広告（チラシ）デザイン等

魅力度アップ

広報・プロモーションを行う上で、まずはターゲットである“日本の歴史や文化に興味のある欧米豪のインバウンド”に対して伝えるべきイベント名とキャッチコピーを決定しました。

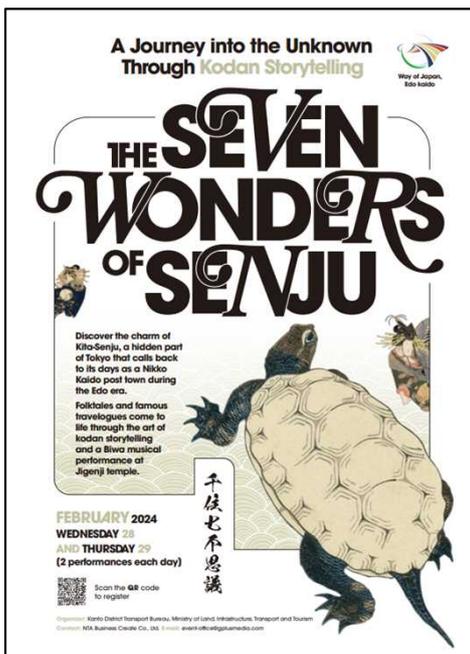
The seven wonders of senju “A Journey into the Unknown Through Kodan Storytelling”

（邦題：あなたの知らない千住七不思議の世界）

また、千住七不思議をモチーフとした英字チラシを作成し、インバウンドが多く立ち寄る観光情報コーナーや主要ホテル、 hostel等を中心に配架しました。特に、主要ホテルについては、配架のみではなくコンシェルジュによる宿泊客への推奨を依頼し、より効果的な集客を目指しました。

配架数：約1,800枚

配架先：50箇所（観光情報コーナー2箇所、学校関係1箇所、ホテル40箇所、商業施設等7ヶ所）



チラシデザイン（表）



チラシデザイン（裏）



【参考】主要配架先

東京シティアイ（東京駅丸の内南口KITTE内）、ホテルニューオータニ、ロイヤルパークホテル、浅草ビューホテル、両国第一ホテル、サクラホテル浅草、東京ゲストハウスかがりび、アーバン東京・上野・北千住、ホテル日航成田、羽田エクセルホテル東急、ホテルメトロポリタン、ホテルメトロポリタンエドモント 等

2) WEB媒体を活用した広報宣伝の実施

プロモーションを実施する際は、旅行者に「何を」「どのように」伝えるのかという観点が重要であることから、メディア選定にあたり“主に訪日インバウンドを対象とした訴求力のあるWEBサイト”にて記事広告を展開し集客を図ることとしました。

●Japan Today (japantoday.com) でのプレスリリース

本事業では、月間ユニークユーザー150万人を誇る英語ニュースサイト「JAPAN TODAY」の運営会社と連携し、記事広告を作成、同サイトへ掲出する広告宣伝を実施しました。

記事広告内に予約サイト (GAIJIN POT) へのリンクを設定し予約へ誘導、また、記事広告は講演会開催まで2回に分けて掲出する等、効果的な手法を駆使し集客に取り組むこととしました。

特に2回目の記事広告については、予約状況を踏まえ、開催日当日まで固定枠での継続掲載を実施することで、効果的な予約取り込みができるよう配慮しました。

○JAPAN TODAY画面

The screenshot shows a webpage layout with a main article on the left, a photo of a traditional Japanese temple courtyard in the center, and a sidebar on the right containing event details and a logo for 'Wag of Japan, Edo keido'.

●イベントランディングWEBページの作成と予約管理

予約管理は「GAIJIN POT」にて実施することとし、予約状況は関係者間で随時共有しました。また、個人情報の取扱いについては、予約画面で個人情報の取得（氏名及びメールアドレス）に関するポリシーを掲載し申込者へ周知しました。

○GAIJIN POT予約画面（抜粋）

The screenshot displays a registration form with fields for Name, Email, and Preferred Performance Date and Time. Below the form is a privacy policy section titled 'Act on the Protection of Personal Information' which details how personal data will be used and shared.

■実施内容

- ・令和6年1月16日（火）第1回記事広告配信
- ・令和6年2月14日（水）第2回記事広告配信（2/14～2/28継続掲載）

■記事内容

- ・講談とは？、開催の背景、講談会開催概要、エクスクーション案内、等。
- ・記事広告内に予約画面へ遷移するリンクを配置し、予約へ誘導。

●記事広告アクセス状況国別一覧

データ計測期間	1/16～2/13 (第1回広告)	2/14～2/29 (第2回広告)
記事本文ページビュー	663	841
国別アクセス数（シェア）		
日本	423 (63.8%)	402 (47.8%)
アメリカ	127 (19.1%)	200 (23.7%)
ヨーロッパ	64 (9.6%)	146 (17.3%)
アジア	34 (5.1%)	62 (7.3%)
オーストラリア・ニュージーランド	13 (1.9%)	29 (3.4%)
その他	2 (0.3%)	2 (0.2%)

注) ここでの国は、アクセスした人が居た国を指し、国籍とは一致しない。

●参考： JAPANTODAYの公式Facebookアクセス状況

データ計測期間	1/16～2/13	2/14～2/29
リーチした人数	1,978	2,946
いいね！ コメントシェア	6	29
投稿クリック	14	26

※JAPAN TODAY運営会社コメント

- ・今回の記事閲覧数は、JAPANTODAYの一般記事閲覧数平均値より高い結果であった。
- ・日本文化を想起させる広告デザインの効果も相乗し、訴求力が高まったのではと分析している。

10. アンケート調査

1) アンケート内容

今回のイベントの評価及び今後の取り組みへのデータ収集も兼ねて、参加者へアンケートを実施しました。当日の会場でアンケート用紙（Webフォーム回答用QRコード掲載）を配布した結果、延べ39名参加の内、37件（回収率94.8%）と、ほぼ全参加者からの回答を得ることができました。

■アンケート設問

1. 居住地
 2. 性別
 3. 年齢
 4. 訪日回数
 5. 北千住の認知度
 6. 本イベント情報の入手手段（複数回答）
 7. 講談会の満足度
 8. 街歩きガイドツアーの満足度
 - 9-1. 有料の場合の料金設定（講談会）
 - 9-2. 有料の場合の料金設定（街歩きガイドツアー）
 10. 全体のお勧め度
 11. 参加理由、感想（自由記載）
- <以下は、居住地が海外（訪日外国人）のみ対象設問>
12. 訪日の主な目的（複数回答）
 13. 日本での滞在日数
 14. 消費額（宿泊／交通／飲食／レジャー／買い物／合計）
 15. 日本の観光に期待すること（自由記載）

○アンケート用紙（紙面：英語）

We would greatly appreciate your participation in our survey.¹

You can also fill out the questionnaire online → 

Post-Event Survey - The Seven Wonders of Senju²
~ A Journey into Unknown Through Kodan Storytelling ~³

Thank you so much for joining us today, we hope you had a great time! Please take a moment to share your feedback in this survey. Your insights will guide us in creating more unique experiences like this one.⁴

1. Where do you currently reside?⁵

a. Outside of Japan (please specify the country) _____⁶

b. Tokyo (please specify the ward/city) _____⁶

c. Japan (please specify the prefecture) _____⁶

2. What gender do you identify with?⁷

a. Male b. Female c. Other⁸ _____⁹

3. How old are you?¹⁰

a. 10 to 19 years¹¹ b. 20 to 39 years¹² c. 30 to 39 years¹³ d. 40 to 49 years¹⁴

e. 50 to 59 years¹⁵ f. 60 to 69 years¹⁶ g. 70 or older¹⁷ _____¹⁸

4. How many times have you visited Japan?¹⁹

a. First time²⁰ b. Two times²¹ c. Three times²² d. Four or more times²³ e. I live in Japan²⁴

5. Were you already familiar with Kita-Senju before attending this event?²⁵

a. No²⁶ b. Yes, but it's my first visit²⁷ c. Yes, I visited before²⁸ d. Yes, I visit often²⁹

6. How did you learn about this event? (You can choose more than one)³⁰

a. I saw it on the internet/SNS³¹ b. I saw the flyer³²

c. It was recommended to me by an acquaintance³³ d. It was recommended by the hotel I'm staying in (please tell us the hotel's name)³⁴ _____

e. Other: _____³⁵

7. Did you enjoy the performances?³⁶

a. Yes, I thoroughly enjoyed it³⁷ b. Yes, I found it enjoyable³⁸

c. It was okay, but not particularly enjoyable³⁹ d. No, I did not enjoy it.⁴⁰

e. No, the performance was not engaging⁴¹

8. For those who participated in the guided tour: did you enjoy the tour?⁴²

a. Yes, I thoroughly enjoyed it⁴³ b. Yes, I found it enjoyable⁴⁴

c. It was okay, but not particularly enjoyable⁴⁵ d. No, I did not enjoy it.⁴⁶

e. No, the performance was not engaging⁴⁷

《 Please also see the back page 》⁴⁸

9. If this was a paid event, what amount would you be willing to pay for the performances?⁴⁹
(Please specify the currency)⁵⁰

Performances: _____⁵¹ Tour: _____⁵²

10. Would you recommend this event to other people?⁵³

a. Yes, I would highly recommend it⁵⁴ b. Yes, I would recommend it⁵⁵ c. I'm not sure⁵⁶ d. No, I wouldn't recommend it⁵⁷

11. Please share your reasons for attending the event and provide your overall thoughts.⁵⁸

_____⁵⁹

* For the next set of questions, we kindly ask that only those who are currently visiting Japan respond (If you currently live in Japan, no need to answer) *⁶⁰

12. What was the main purpose of your visit to Japan?⁶¹

a. Sightseeing & Leisure ⁶²	b. Visiting relatives and acquaintances ⁶³
c. Honeymoon ⁶⁴	d. School trip ⁶⁵
e. Do or watch sports ⁶⁶	f. Event ⁶⁷
g. Exchange program ⁶⁸	h. Treatment or medical checkups ⁶⁹
i. Incentive trip ⁷⁰	j. Exhibitions or trade fairs ⁷¹
k. International conference ⁷²	l. Corporate meeting ⁷³
m. Training ⁷⁴	n. Other business-related affairs ⁷⁵
o. Transit stop ⁷⁶	p. Other _____ ⁷⁷

13. How many days are you planning to stay in Japan? _____ days⁷⁸

14. Could you tell us the approximate amount (per person) you planned to spend on this trip?⁷⁹
(Please specify the currency)⁸⁰

Accommodation ⁸¹ _____ ⁸²	Entertainment and activities ⁸³ _____ ⁸⁴
Transportation ⁸⁵ _____ ⁸⁶	Shopping ⁸⁷ _____ ⁸⁸
Foods and drinks ⁸⁹ _____ ⁹⁰	_____ ⁹¹
Approximate total: _____ ⁹²	

15. What aspects of tourism in Japan are you most excited about or looking forward to?⁹³

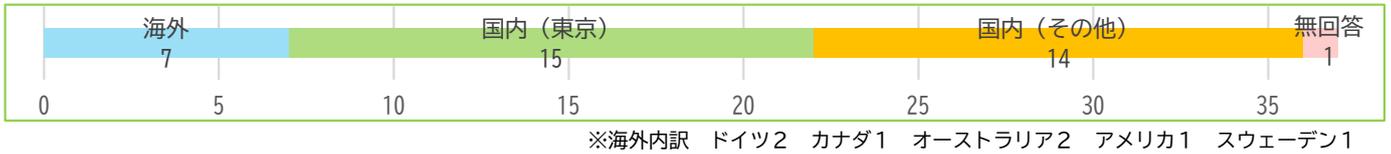
_____⁹⁴

Thank you so much for filling out this form!⁹⁵
Please hand this questionnaire to one of our staff staff before leaving the venue!⁹⁶

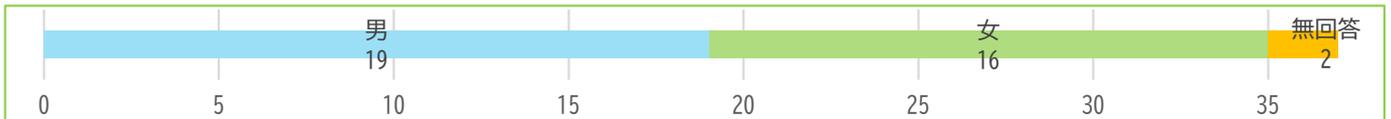
2) アンケート結果

※n値=37 設問8はn値=20 設問14はn値=7

■ 1. 居住地



■ 2. 性別



■ 3. 年齢



■ 4. 訪日回数



■ 5. 北千住の認知度



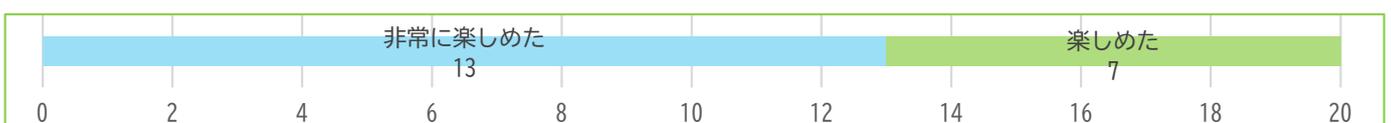
■ 6. 本イベント情報の入手手段



■ 7. 講談会の満足度

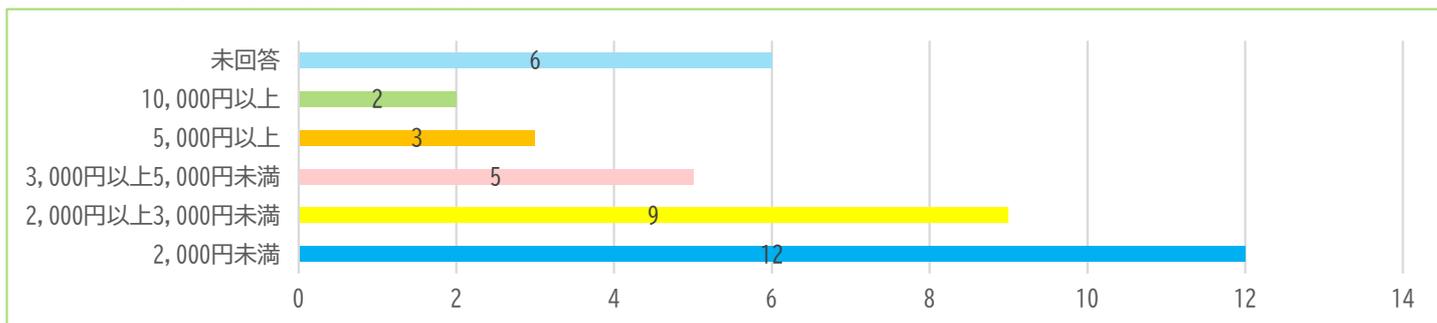


■ 8. 街歩きガイドツアーの満足度

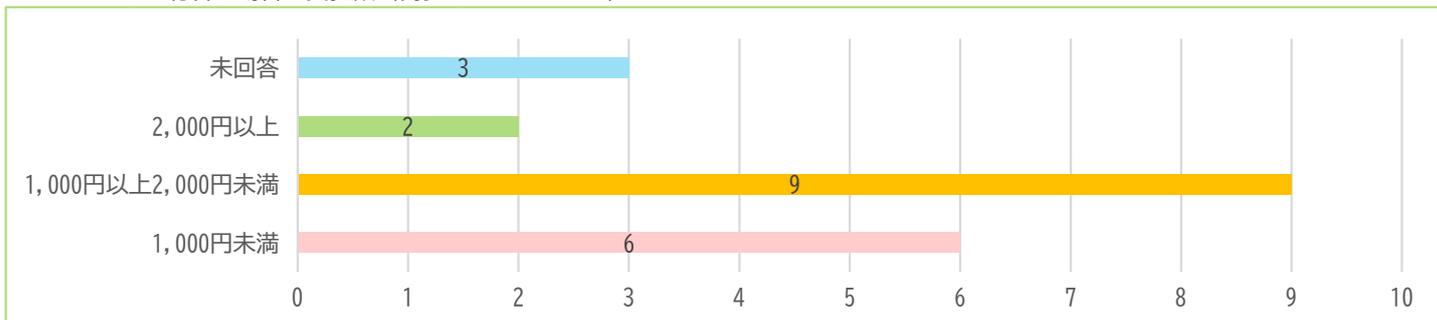


※街歩きガイドツアー参加者20名のため n=20

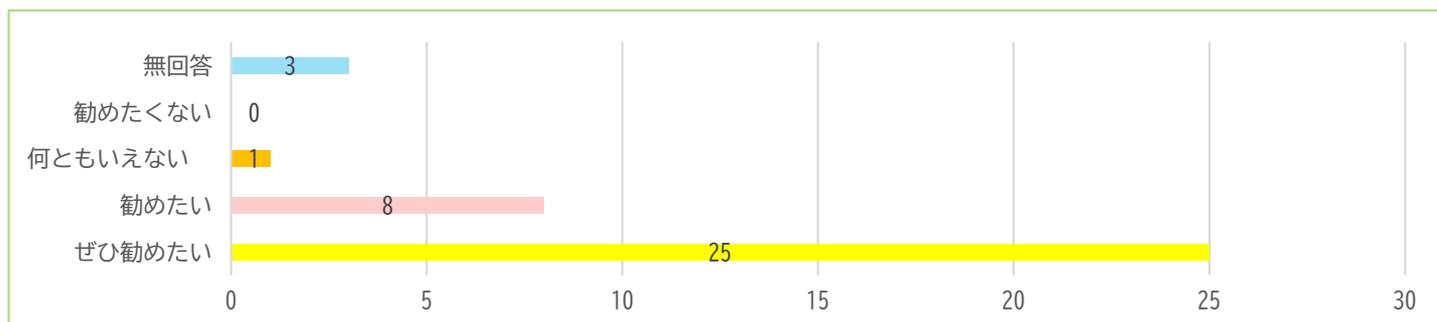
■ 9-1. 有料の場合の支払額（講談会）



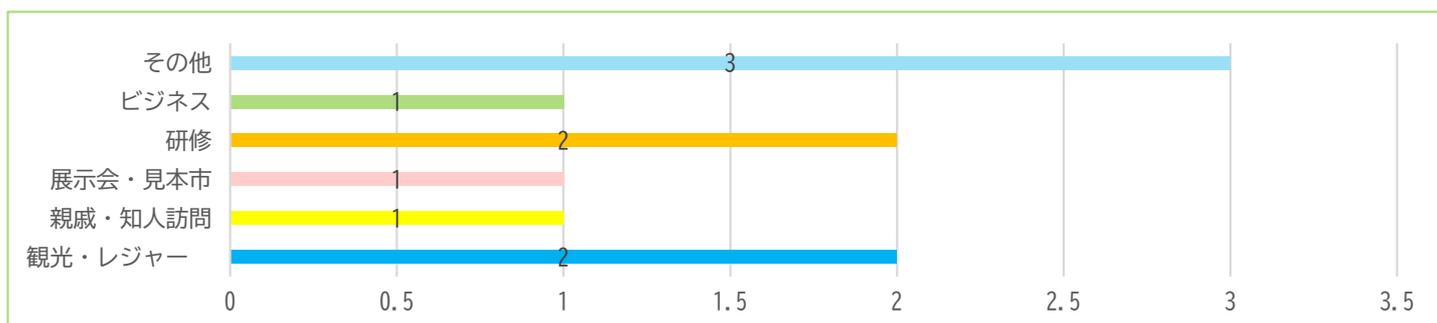
■ 9-2. 有料の場合の支払額（街歩きガイドツアー）



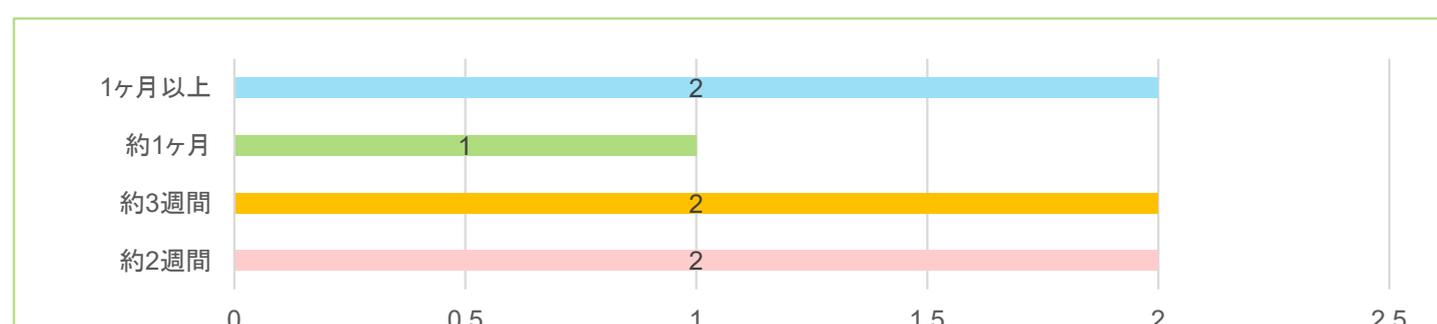
■ 10. 全体のお勧め度



■ 12. 訪日の主な目的

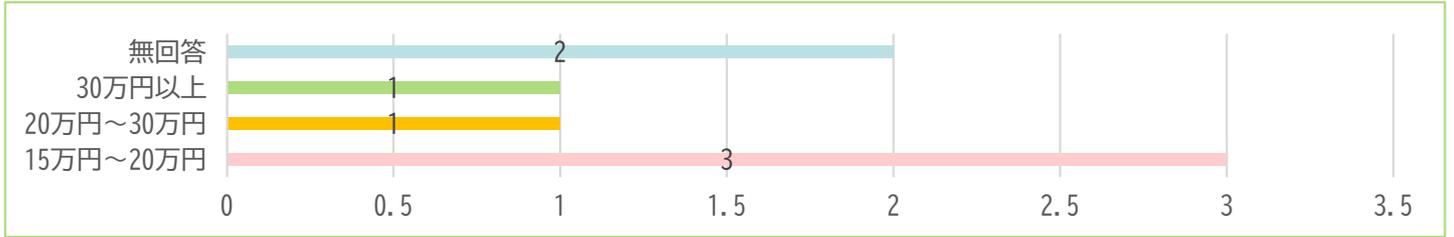


■ 13. 日本での滞在日数

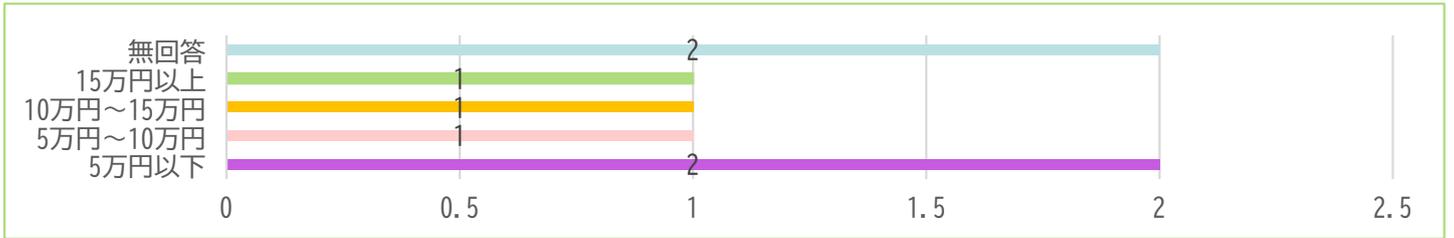


※消費額は、1 \$ = 150円 1 £ = 160円として算出

■ 14-1 消費額 (宿泊)



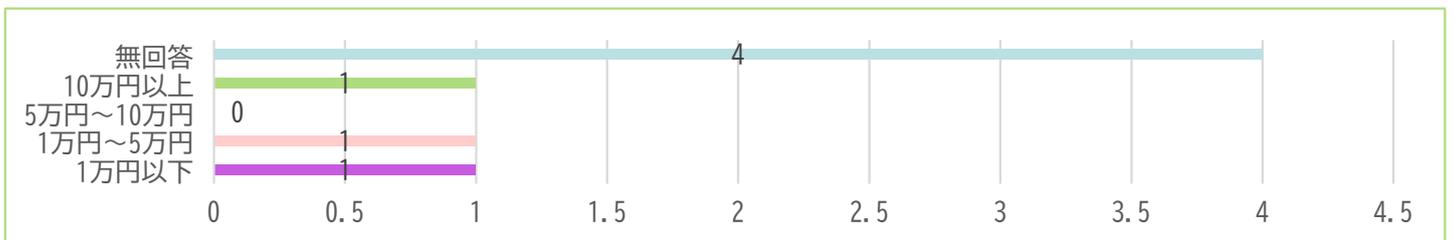
■ 14-2 消費額 (交通)



■ 14-3 消費額 (飲食)



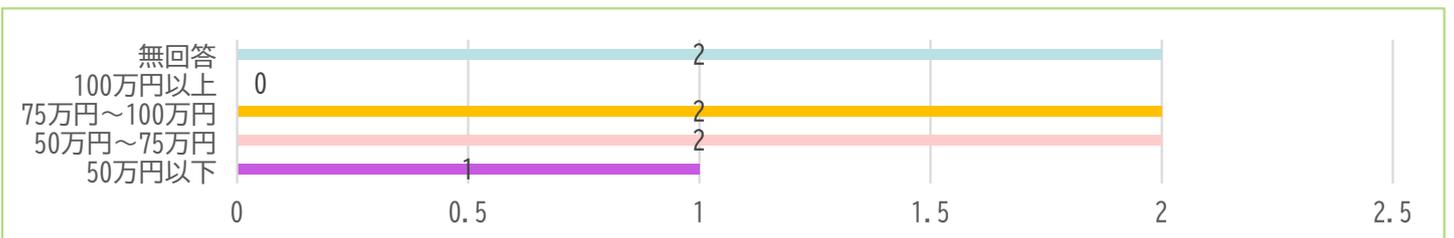
■ 14-4 消費額 (レジャー・娯楽)



■ 14-5 消費額 (買い物)



■ 14-6 消費額 (合計)



■ 11. 参加理由、感想（自由記入）※抜粋

- ・北千住に来るのは初めて。散策してみたいと思った。講談も初めての体験なので。
- ・都市の歴史を学ぶことで散策がより楽しめると思った。参加しなければ見過ごしてしたような場所をたくさん見れた。
- ・より文化的な体験をしたかった、東京でまだ行ったことのない地域のことを知りたかった。
- ・日本文化を学ぶ素晴らしい機会だと思った。琵琶には特に興味があつたので、公演が見れて本当に嬉しかった。
- ・今まで講談を見る機会がなかったが、日英両言語で見られたのがとてもよかった。
- ・パフォーマンスアートが好きなので講談に興味を湧いた。語りが美しく、のめり込める内容だった。
- ・ガイドツアーの方が車やバイクが通り過ぎるとすごく注意を向けたので、内容に集中するのが難しかった。
- ・講談とは何なのか知りたかったです。何を期待していいのかわからなかったが、とても楽しく、興味深かったです。素晴らしいパフォーマンスで、とても楽しい時間を過ごすことができました。
- ・日本の伝統的な方法で日本の文化について聞くことができた。琵琶の演奏と講談は本当に素晴らしく、そこから日本のエッセンスを感じることができました。
- ・講談を知りたいと思ったことに加えて、北千住についてもっと知るために参加しました。特に講談を英語と日本語、両方で聞くことができてとても興味深かったです。とてもいい経験でした！
- ・珍しい芸術についてもっと知り、体験するために参加しました。北千住の歴史は芭蕉以外には知られていないので、現地で本物を感じ、体験したいと思ったからです。

■ 15. 日本の観光に期待すること（自由記入）※抜粋

- ・食、歴史、アクティビティ、工芸、酒（飲むこと）、音楽、芸術
- ・食、緑茶、寿司作り、富士山、相撲、着物
- ・食、美術館、冬の北海道、桜
- ・自然、演劇、食、ファッション
- ・食、社会（人々）、異なる都市や都道府県
- ・伝統工芸作り体験、日本食を味わう
- ・機織り体験、木彫り体験。日本の工芸品全般。

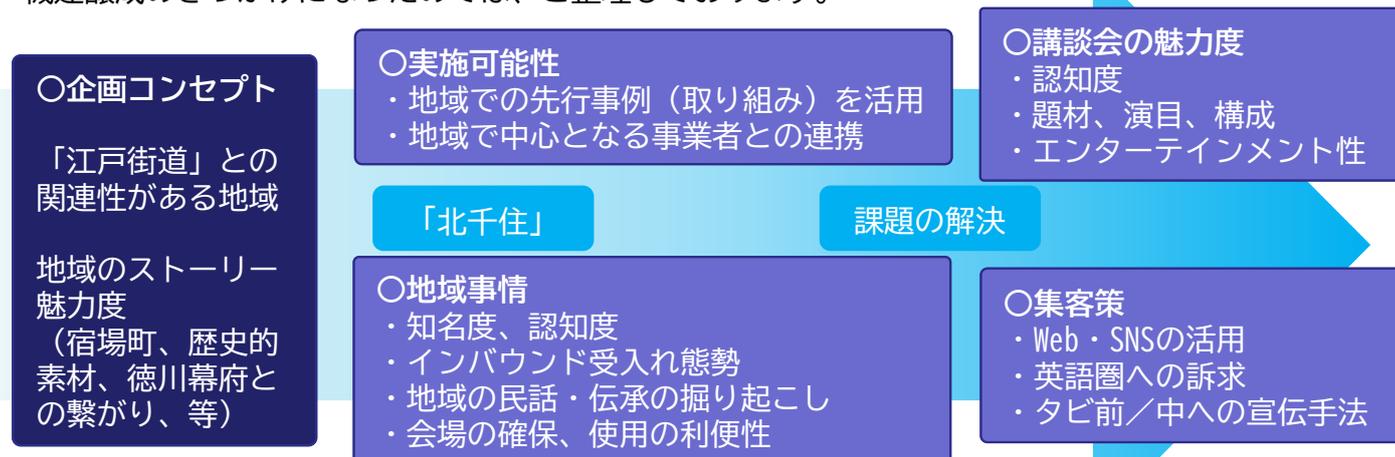
3) アンケート結果分析

- 比較的若い層（10～39歳）の参加が35%を占めており、若者層にも日本の伝統文化に対する興味が広がっていると推測できる。
- 北千住の認知度が低い中で、初めての訪日で本イベントへの参加者が3名もおり、参加理由から読取っても「北千住」、「宿場町」、「講談」という、あまりメジャーではない観光素材を求めているマーケットが存在していると推測できる。イベント名称も奏功し、日本の知られざる文化・歴史への探求心の高い層に訴求できたのでは、と整理している。
- チラシでの情報入手は些少であり、アイキャッチツールとしては必要ではあるものの、今後、費用対効果を考慮する必要があると整理している。
- 講談会、街歩きガイドツアーに関しては、共に満足度が高く、講談に対し興味を持って参加した層の期待を裏切らない内容であったと言える。特に奥の細道やそば閻魔の日本語公演は、日本語の響きや独特の言い回しを体験できた貴重な機会になった、という感想も見られたことから、英語字幕の仕様、工夫は一定の成果があったと考えられる。また、琵琶の弾き語りも想定以上に反響が良く、伝統芸能にエンターテインメント性を付加したプログラム構成は成功したと言える。
- 街歩きガイドツアーについては、（アンケートには記載が無いが）通訳が台本通りにしか案内しない等の声も寄せられており、また通行の安全面を重視するあまり、ガイドの話に集中できないといった声も寄せられていた。今回は、生活圏と観光圏の共存を検証する実証実験の意味合いも兼ねていたが、基本的な通訳ガイドの質の向上、育成が必要であることが検証された。この点は、有料の場合の支払額にも反映されており、75%以上の参加者が、1,000円以下の価値しか感じていないことと無関係ではない、と整理分析している。
- 講談会が有料であった場合の支払額については、2,000円以下が65%弱、3,000円以上が30%強となっており、今後の自走化を検討していく上での参考値となった一方、参加理由が肯定的な意見が大半を占めており、いかに高付加価値を付けて自走化に見合う料金を設定していくかが重要な視点である。
- 日本の観光に期待することとしては、「food=食」というワードが散見されており、地方都市や都市部における知名度、認知度が低いエリアにおいても、「文化的イベント+日本食」といったパッケージを造成することで、高付加価値化、高額化による消費拡大へ繋げる取り組みが可能であると言える。

1 1. 受託事業者所感

1. 事業実施のポイント

事業コンセプト（P3掲載）を基に、北千住での実施可能性と地域事情を並行して検討した上で、まずは実施に向けての枠組みを固めることから始めました。また、インバウンドにとっては認知度が高いとは言えない「北千住」、「講談」というコンテンツの魅力をいかに発信し集客に繋げる工夫を凝らすか、に特に重点を置きました。また、実施の過程で顕在化した会場の仕様や集客につながる広告宣伝手法といった諸課題を地域の皆様と解決しながら取り組んだことは、千住宿開宿400年に向けた機運醸成のきっかけになったのでは、と整理しております。



2. 事業の自走化へ向けて

今後のインバウンド誘客を対価を得て推進（自走化）する上で、「Senju Model」の更なる高付加価値化が必要と認識しております。一例として、地域ならではの食事（特に夕食）の提供を組み込んだプランの販売は、地域経済の活性化に直結するとともに、地域の食のブランド化への相乗効果も期待できる取り組みとなります。料金の設定バランスは、イベント内容及び地域事情も踏まえて考察・検討する必要がありますが、当初は地元自治体による支援等、何らかの助成を加味した料金設定が必要と感じております。



ABC 株式会社 日本旅行ビジネスクリエイト

1 2. 費用について（参考）

自走化に際して考えられる費用（概算）は下記の通り。 ※参考値

項目	費用（概算）
会議関係費	10万円
出演関係費（講談師、琵琶奏者）	30万円
企画関係費（会場装飾設営関係、街歩きツアー等）	150万円
広告宣伝関係費（WEB広告、紙媒体チラシ等）	80万円
アンケート調査関係経費	20万円
運営管理費等諸費用	別途

13. まとめ

◆インバウンド誘客のポイント

●ターゲットの明確化

欧米豪をターゲットに設定し、欧米豪に訴求力のあるメディアでWEB広告記事を複数回配信。

●潜在層への訴求

「講談」の魅力について、インバウンドでも興味を持てるよう解説・特集したWEB記事を作成

●告知手法の工夫

ホテルへのチラシ配架について、コンシェルジュ対応可能なホテルには個別に協力を依頼

●付加価値化

千住七不思議の舞台となった場所等を巡る「英語ガイド付き街歩きツアー」を実施

◆地域連携による受入機運醸成の取り組み

●イベントをフックに

街歩きツアーの実施に際しては、商店街、寺院等の理解、協力を得るとともに、地元自治体・企業の協力による「御宿場印マルシェ」を同日開催（街歩きツアー行程に組み込み）

◆言語対応の取り組み

●本物体験

英語による講談のほか、日本語を主体に一部英語を織り交ぜた短話の講談を実施

●芸術性への訴求

千住ゆかりの松尾芭蕉の「奥のほそみち」を題材に、日本語による琵琶弾き語りの演目を実施

●翻訳表示の工夫

会場装飾用のふすま絵を英語字幕（場面説明）として利用し、違和感の無い演出を実現。

◆課題と今後の展望

○受入環境・態勢の整備

- 〔ハード〕
- 案内表記の多言語化（観光地QRコードの多言語化）
 - 通信環境（Free Wi-Fi等）の整備、等
- 〔ソフト〕
- 英語ガイドの育成
 - キャッシュレス精算の普及・導入
 - タビ前・中への情報発信（SNS活用）
 - 英語メニュー、ナイトタイム検討、等

○観光圏と生活圏の共存

- 地元を知ることから始める
 - ・街の歴史、文化、伝統の再認識
- 受け入れ意識の啓蒙から機運醸成へ
 - ・インバウンドの必要性
 - ・交流機会の創出による理解
- 「分けること」と「交わること」のバランス
 - ・交通障害への対応
 - ・マナーの啓蒙（撮影、ゴミ、無断立入）

- ◆インバウンド向け誘客イベントの定例行事化
- ◆自走に向けたイベントの料金設定と高付加価値化
- ◆地域事業者間の連携、中心となる地域事業者への支援・協力

※関連資料

- ・江戸街道プロジェクト推進ビジョン2023（関東運輸局）
<https://www.tb.mlit.go.jp/kanto/content/000294468.pdf>
- ・観光地域づくり法人（DMO）による観光地経営ガイドブック（観光庁）
https://www.mlit.go.jp/kankocho/topics04_00002.html
- ・文化財を活用したユニークベニューハンドブック（文化庁）
https://www.bunka.go.jp/tokei_hakusho_shuppan/shuppanbutsu/bunkazai_handbook/index.html
- ・「文化資源の高付加価値化」 課題解決への事例集（文化庁）
https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunka_gyosei/bunkakanko/pdf/93857301_01.pdf



めぐる あるく つながる

江戸街道プロジェクト

歴史文化資源を活用した地域誘客促進企画
～Senju Model～

令和6年5月発行

編集・発行

国土交通省 関東運輸局観光部

江戸街道プロジェクト推進チーム

〒231-8433

神奈川県横浜市中区北仲通5-57

TEL 045-211-1255

株式会社日本旅行ビジネスクリエイト地域振興推進部

〒105-0022

東京都港区海岸2-1-24 NAC港ビル

TEL 03-6683-9086

🔍 江戸街道プロジェクト

検索